

# 支所の充実、庁舎増築は最小限に

## 質問

本庁舎必要職員数330人、3支所で上限24人の積算は、庁舎統合の面積と増改築費用は必要最小限に限る必要がある。統合庁舎の面積と概算費用35億円の縮減はできるのか。

## 企画部長

正職員294人、臨時職員36人と想定した。支所は最大で立田・八開6人、佐織12人。建替分8千550㎡を含めて旧庁舎も利用する中で、1万1千500㎡の規模で設定した。35億円は最大かかる費用。出来る限

り安くは大前提だ。

## 質問

市民に公平・平等な行政サービスを保障していく上で最初に考えなければならぬのは、市役所及び支所への距離的利便性。永和出張所も含めて4カ所とすべきではないか。

支所での市民サービス135項目で市民に直結するサービスは現在とほぼ同一としているが、団体業務や専門の窓口、地区行事の応援などは本課業務としている。これらの様々な相談的業務を丁寧に行って



永井千年 議員

こそ、市民サービスの低下はさせないと言う基本事項から外れない、ワンストップの総合的な行政サービスになると考えるが。

# 上・下水道の料金改定と統一は

## 質問

海部南部水道企業団の料金問題等検討委員会は、「料金は引き下げず、当分現行料金で行く。使用料金の細分化も次の料金改定の時に検討する」という大変残念な結論を出した。市長はどの様な意見を主張したのか。

## 市長

数年先には値上げせざるを得ないと判断しているなかで、少しでも値上げを遅らせるためにも、現段階での値下げはふさわしくないと述べた。

## 質問

市の水道料金の統一の日程を明らかにするように。八開

## 企画部長

将来の維持管理費とか統合庁舎への距離などを考慮した結果3ヶ所とした。苦渋の選

択、断腸の思いだ。

役所の出先機関として地域住民の相談は柔軟に対応すべきものと考えている。



の月額水道料金の水量を直ちに10トンにするよう重ねて求めたい。また、公共下水も含めた下水料金の統一の日程も明らかにせよ。

## 上下水道部長

八開の月額基本料10トンは、現在の所考えていない。

## 市長

佐織を県水100%に近づけるべくお願いし、料金改定を進

める。その後八開との料金の統一を考えている。今、何年に統一するという状況ではない。

## 上下水道部長

農業集落排水事業は、現在、地区別で料金統一を行っている。公共下水も含めた料金統一は少し時間が必要。5年後の検証を基に料金統一を考える。